

会 議 録

1 会議名

令和6年度第2回上越市社会教育委員・上越市立公民館運営審議会委員会議

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 令和7年度社会教育の方針作成について（公開）
- (2) 社会教育委員による事業評価について（公開）
- (3) 第64回関東甲信越静公民館研究大会新潟大会について（公開）
- (4) その他（公開）

3 開催日時

令和6年7月25日（木） 午前10時～11時20分

4 開催場所

上越市福祉交流プラザ2階 第1会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：茨木委員、江村委員、亀山委員、佐藤委員、佐野委員、高橋委員、
土屋委員、平田委員、松井委員、村本委員、森田委員、山崎委員、
渡邊委員

・事務局：福山社会教育課長、宮崎参事、竹内副課長、長谷川中央公民館長、
岡田係長、池田係長、宮川係長、山田副主幹、岩片主任

8 発言の内容（要旨）

- (1) 開会
- (2) 渡邊委員長挨拶
- (3) 議事
- ① 令和7年度社会教育の方針作成について
— 資料No.1に基づき事務局説明 —

土屋委員：13区にも現状を確認するという話があったが、どのような意味か。

事務局：社会教育課だけでなく、13区の総合事務所の教育・文化グループへも現状と課題を確認し、取りまとめて作成していくということである。

渡邊委員長：資料をご覧いただき、意見等あれば、8月末までに事務局までお寄せいただきたい。

② 社会教育委員による事業評価について

— 資料No.2に基づき事務局説明 —

佐藤委員：暮らしに役立つ消防局見学の今後の対応に、高齢者の移動の問題を含む災害時の対応や対策について、地域で学び、考える機会となるような講座を検討していきたいとあるが、障害がある人もいるという視点を盛り込んだ内容も検討していただきたい。

事務局：前向きに検討したい。

土屋委員：中・高校生向けに市政運営などに関心を持ってもらう講座ができないか。若者の選挙の投票率が低いなど地域でも指摘がある。

事務局：中・高校生向けに市政運営などの講座を単独で企画しても参加者が集まらない。今年度でいうと、中・高校生向けにお菓子作り講座や小学生向けのイベント「こうみんかんキッズフェスタ」を企画する講座があるので、その中の一部で選挙などの話を盛り込むなど、小さなところから始めてみることはできるかもしれない。

土屋委員：そこに絡めて、18歳で成人となり消費者として注意すべきことは学校でも話があると思うが、社会教育としても周知していけるとよい。また、18歳で上越市を離れて暮らす人も多いが、上越市に関心を持った状態で上越市を離れてほしい。市として何か企画できないか。

事務局：今年度新たな事業として、18歳で成人を迎える人に1月の成人の日に合わせ、上越市からの祝意を示す市長のメッセージを添えたハガキを送る予定である。その中に二次元コードを掲載し、読み取ると上越市の状況や奨学金の助成、18歳になると法的な責任も出てくるため消費者関係の情報がわかるものとしたい。これまで二十歳を祝うつどいの際に、成人を迎えた皆さんに伝えたいことを周知してきたが、18

歳になった時点でも周知する機会を作っていきたい。

山崎委員：事務局の話にもあったが、シリーズものの講座の中の一つとして難しいテーマを盛り込んでいくことは大事だと思う。20歳になるからといきなり情報を詰め込もうとしても無理がある。もう少し早い段階で考えたり話をしたりする機会があるとよい。実際に、家庭で政治などについて話をする機会がほとんどない。だから、関心がなく、いざ選挙となっても行かない。自分たちの今の生活がどのように政治と関わっているのか、政治がなければ成り立たないということに普段から関心を持ってもらわないといけない。社会教育は、そのような現代的な課題について解決するような講座を設定していくことが一番の使命であると思うので、早い段階から取り組んだ方がよい。防災関係も、障害者はもちろん高齢者や一人暮らしの人に対しても町内会で対応を考えているが、そのことを知らない人も多い。まず、実態を説明し、そこからどのようにしたらよいか考える機会があるとよい。町内会長向けの講座も必要ではないか。

③ 第64回関東甲信越静岡公民館研究大会新潟大会について

— 資料No.3に基づき事務局説明 —

土屋委員：身近なところで全国大会が開催されるが、広報はどのように行っているのか。

事務局：公民館関係者を対象とした研究大会となっているため、現在、公民館運営委員や公民館主事、社会教育委員の皆さんに案内をしている。今のところ一般向けの広報は予定していないが、公民館に関心のある人であれば、どなたでも参加でき、当日の参加受付も予定しているので、興味のある人がいれば、お誘いいただき参加してほしい。

④ その他

■金谷地区公民館新築工事について（質疑なし）

— 事務局説明 —

■今後の会議等の日程について（質疑なし）

— 資料No.4に基づき事務局説明 —

■上社連の総会・研修会・情報交換会について、県社会教育委員等研修会について、生涯学習現地研修会について

— 渡邊委員長説明 —

土屋委員：県社会教育委員等研修会の講演会資料の中で、社会教育委員の会議は年5回開催することが望ましいと記載されていたが、そのことについて皆さんと共有したい。参加された方から何か補足があればお聞きしたい。

亀山副委員長：講演会では、みんなでしっかり社会教育と向き合い、計画立案や予算要求をするためには、時間と場が必要であり、会議は最低でも5回は必要だと強調されていた。しかし、その後の分科会で班に分かれた際に行政側の準備などいろいろ考えると現実的ではないという話が多数あった。上越市は年3回会議があるが、他市ではもっと少ないところもある。上越市は一生懸命にやっていると参加して感じたが、会議は年4回程度必要ではないかとも感じた。

土屋委員：社会教育の活動でも地域独自の予算事業が使えることをもっとPRすれば、関心がある人にもっと興味を持ってもらえるのではないかな。

山崎委員：社会教育課で行うことは難しいと思う。

事務局：地域独自の予算事業については、地域政策課で行っているが、周知が足りていない部分があるとすれば、担当部署へも伝えたい。社会教育課としても、相談があった際には、地域独自の予算事業について紹介はしている。

土屋委員：地域独自の予算事業でなくても、地域活性化に向けて、社会教育課として制度を作り、市民が新しく活動する際に補助することを考えてもよいのではないかな。活性化するアイデアを募集するなど市民に呼びかけるような活発な社会教育の体制であってほしい。

山崎委員：私たち社会教育委員が、社会教育や公民館の情報を集め、市民として使いやすいものはどのようなものかをまとめることはできると思う。それをすべて市にお願いすることは難しい。社会教育委員の活動として、自主的なグループを作り、情報をまとめ、市に提案することがで

きるとより社会教育委員としての活動が活発になると思う。

事務局：皆さんは上越市の社会教育委員だが、公民館運営審議会委員でもあるので、社会教育委員としての立場だけではなく、公民館運営審議会委員としても、ぜひ意見をいただきたい。来年度の新規事業にあたって、公民館はこうあるべきだと言う意見や提案があれば教えていただき、来年度の社会教育の方針に取り入れていくことも可能なので、その点も踏まえてご意見をいただきたい。

渡邊委員長：県社会教育委員等研修会の講演会では、次年度予算についての意見も組み込んでもらうためには、予算編成に合わせて社会教育委員会会議を開催することが必要であり、そうすると会議は年4、5回必要となるという話であったが、会議以外でも市に相談や提案をすることもできる。予算編成に合わせて意見を言うことも大事であり、来年度に向けて、早い段階で検討していくことが必要である。

(4) 閉会

9 問合せ先

上越市教育委員会社会教育課

TEL：025-545-9245（内線2741）

E-mail：shakaikyouiku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。